

令和8年度第1回刈谷市スポーツ推進審議会 会議録

1 日時及び場所

令和8年5月19日（火）14時00分～15時30分

刈谷市役所 6階 604会議室

2 出席した委員 寺本 圭輔、鈴木 裕子、竹内 晋峯、清水 貞光、川本 隆夫、水鳥 幸子、山口 博子（以上、敬称略）

欠席した委員 辻村 享、鐘ヶ江 辰彦、後藤 政美（以上、敬称略）

3 事務局 教育長、教育部長、スポーツ振興監兼スポーツ課長、課長補佐、業務係長、指導係長、普及係長、普及係担当者1名

4 議 事

議題1 刈谷市スポーツ推進審議会会長の選出と職務代理者の指定について—資料1

議題2 第3次刈谷市スポーツマスタープランアクションプランの策定について—資料2、3、4、5、参考資料1、2

その他

5 議事内容

○議事進行：スポーツ振興監兼スポーツ課長

委員紹介、事務局紹介、資料確認ののち、教育長挨拶

議題1 刈谷市スポーツ推進審議会会長の選出と職務代理者の指定について

【事務局】 資料1により説明

会長を委員の互選によって選出する。また、会長の選出後、会長が職務代理者を指定する。まず、会長の選出について立候補又は意見を伺う。

【委員】 社会体育に造詣が深く、経験も豊かな寺本先生にお願いしたい。

【事務局】 会長を寺本委員にとの意見があったが、寺本委員の会長就任に賛同の委員は、拍手をお願いしたい。

【委員】 <拍手>

【事務局】 満場一致により寺本委員を会長とする。寺本会長には、会長席への移動と就任の挨拶をお願いしたい。

<寺本会長あいさつ>

【会長】 職務代理者の指定について、体育分野で造詣の深い鈴木委員にお願いしたい。

○議事進行：会長 説明者：業務係長

議題2 第3次刈谷市スポーツマスタープランアクションプランの策定について

【事務局】 資料2～5により説明

【委員】 総合運動公園は市民にとって身近な施設であり、その充実を図っていただけるのは大変ありがたい。市内の様々な施設が充実していくことは、スポーツ施設を普段から

利用している者として、大変喜ばしい。

【委員】 刈谷市体育館と刈谷球場の建て替えや移転を検討されているとのことだが、施設の規模はどの程度を想定しているのか。

【事務局】 今後、どのくらいの規模の施設が必要あるのかを見極めながら、検討を進めていきたい。

【委員】 施設の規模感がイメージできないと、これから協議していくのが難しい。

【事務局】 現状を踏まえて規模感を検討していく。何万人、何千人といった集客数から規模を検討するのではなく、競技をされている方の需要などを踏まえ、検討していきたい。

【会長】 今後のスケジュールでは 10 月に最終案を決定するとあるが、この最終案はどのような内容まで決定しなければならないのか。審議会で審議すべき事項を明確に提示してほしい。

【事務局】 次回 8 月の審議会では素案を提示させていただくので、その素案を基に改めてご説明させていただきたい。

【会長】 では今回は、施設に対する要望などを意見すればよろしいか。

【事務局】 今回は、委員の皆様から要望などをお聞かせいただきたい。

【委員】 自由な意見ということであれば、費用面も考慮する必要があるが、刈谷球場が仮に移転するとなれば、ドーム球場ができると嬉しい。

【委員】 刈谷市体育館と刈谷球場は、移転と改築のどちらを検討しているのか。

【事務局】 刈谷市体育館については、竣工から 56 年が経過している。市民にとって愛着のある場所であるため、「亀城公園の近くにあると良い」という市民からのご意見もいただいている。

一方、刈谷球場については、竣工から 32 年が経過している。かつては球場周辺に建物などがなく、騒音や飛球の問題はなかったが、昨今は住宅地に囲まれているため、そうした問題も発生するようになってきている。そのため、移転も視野に入れて皆様からのご意見を伺いたい。

【委員】 最終案を 10 月までに決定する必要があるのはなぜか。

【事務局】 12 月議会で報告をしたいと考えているため、10 月に最終案を固めていきたい。公園構想において、施設整備の着手時期は施設によって異なっている。まず総合運動公園については 2029 年度以降の着手を目指し、それまでにどのような施設を整備するか検討し、用地交渉などを進めていきたいと考えている。亀城公園においては、体育館と武道場の移転を 2039 年度までに、刈谷球場については 2040 年度以降の着手となる見込みである。また、双葉グラウンドは令和 6 年度にスポーツ施設として位置づけを変更したことから、早急な対応を進める方針である。

「魅力あふれる公園づくり構想」は市民の皆様の意見を取りまとめたものであり、「アクションプラン」は刈谷市として今後どのように進めていくかをお示しする内容となる。先ほど施設の規模について質問があったが、今回の計画策定では、具体的な規模まで踏み込む段階ではない。まずは移転の必要性など、基本的な事項について検討を進めていく。

【委員】 刈谷市体育館と刈谷球場の整備は 10 年以上先の話となる。その頃には 18 歳人口が

半減するとの想定があり、10年後、15年後には人口構成も大きく変化していることが予想される。将来の状況を想定して検討しなければ、現状と需要が乖離する恐れがあると考えられる。

この先20年後を考えると、学校の統廃合などにより、空き地が生まれる可能性も考慮すべきである。また、学校体育の範囲ではあるが、部活動が縮小していく中で、子どもたちがスポーツをできる場所を整備していくという視点も必要である。世の中の情勢なども踏まえて検討を進めるべきだと考える。

【事務局】 そのような状況も踏まえて検討をしていきたい。学校体育の部分に関しては、今後どうなっていくのか、国の方針も定まっていない状況である。

【会長】 刈谷市は南北に長い地形であるため、市民が体育施設を利用しやすいよう、施設の場所も考慮する必要がある。今回、計画を策定する3つの施設の位置づけが分かる資料があると話がしやすい。

【事務局】 第3次刈谷市スポーツマスタープランの31ページにスポーツ施設の配置図を掲載しているため、そちらを参考にしていきたい。

【委員】 将来構想の「だれでも、いつでも、どこでも、いつまでも」は、とても大事な視点だと感じた。10年、20年先を見据え、どのようなイメージの施設をつくっていきたいのか教えていただけると、次の議論に繋げることができると思う。

【委員】 アーバンスポーツの普及について、本計画ではコンセプトとしてアーバンスポーツを取り込む意図があるのか。

【事務局】 スポーツ課には、スケートボードの利用場所に関する問い合わせが多く寄せられる状況である。そのため、総合運動公園北側部分のプラススポーツ・エリアでは、スケートボードなどのアーバンスポーツを取り入れる方向で検討している。この検討に際し、学校生徒や市民に対するアンケートを実施した。参考資料の内容がアンケート結果である。アーバンスポーツの導入は決定事項ではなく、昨年度実施したアンケート結果を基にした一案として提示している。

【委員】 刈谷市は、ウィングアリーナ刈谷があるので、体育館は2つもいらぬという考えはあってもいいのか。

【事務局】 そのあたりも周辺の市町村の状況や刈谷市の状況を踏まえて検討をしていきたい。刈谷市はトップリーグの試合も多いため、市民の方がスポーツに親しむ場所も必要だと考えている。そのようなことも含めて刈谷市体育館の必要性を検討し、計画の中で示していきたい。

【委員】 刈谷市体育館を移転する構想があるのであれば、駅の近くに整備してはどうか。今後高齢者が増加することを考慮すると、車を利用せず公共交通機関でアクセスできる施設であることが望ましい。

【委員】 費用面については、審議会でも検討するにあたって考慮すべきか。

【事務局】 費用面については、市で検討する。市の方針をお示しする中で、皆様にもご意見をいただきたい。

【委員】 刈谷市として、現状どう考えているかを含めて次回資料を出していただけると、それに対して意見をすることができる。

【事務局】 資料3および4は、市民の意見を基に集約されたものである。これらの内容を大幅に変更し、異なる方向性とする考えはないため、今後の具体的な進め方について整理し、次回、素案を提示する予定である。

【委員】 確認であるが、市民意見の追加聴取は行わないのか。

【事務局】 基本的には、市民からの意見は既に集約されている状況である。しかし、具体的な施設内容の決定については、本計画内で検討を進める。今後、市民からの意見聴取を行わないわけではなく、スポーツ協会を中心に活動する連盟とも協議を進めながら、計画を策定していく方針である。

【委員】 第3次刈谷市スポーツマスタープランを参考に、施設の方針をイメージしていた。

【事務局】 スポーツマスタープランとアクションプランの位置づけについて整理をすると、スポーツマスタープランは、2019年度から2028年度までの10年間を計画期間とし、刈谷市のスポーツ計画の根幹をなすものである。アクションプランは、スポーツマスタープランの施策項目「施設の整備・充実・開放」に含まれる「施設の計画的な整備・修繕」に該当する部分である。したがって、アクションプランはスポーツマスタープラン内の施策の一つとして位置づけられているものと、ご認識いただきたい。

その他

【委員】 学校スポーツ開放の抽選がなかなか当たらない。抽選方法を教えてほしい。

【事務局】 抽選は、他の一般施設と同様に「刈谷市公共施設予約案内システム」のプログラム内で自動的に行われている。履歴が残らないため、抽選方法の公開はできない。

【委員】 今後、部活動が縮小していき、学校施設を利用したい団体の増加、競争率の上昇が見込まれることから、誰もがスポーツに親しめる環境づくりをお願いしたい。

【事務局】 学校スポーツ開放について、昨年度利用団体へアンケートを実施した。現在の「午前・午後・夜間」の3コマ制から、1コマあたりの時間を短縮し4コマ制へ変更する運用について意見を求める内容であった。コマ数増加により利用できる団体が増えることを期待したが、約8割の団体が3コマ制の継続を希望する結果となった。今後も利用状況を注視しつつ、市民がスポーツに親しめる環境整備について検討を続ける。

【委員】 ウィングアリーナ刈谷のメインアリーナには、時計が1つしかないため、追加設置をお願いしたい。教室運営において、アリーナ内の時計で時間管理をしているため、どこからでも時間が確認できるようになると良い。

【事務局】 一度、現場を確認させていただく。

【 閉 会 】